

神栖市と合同で緊急支援物資輸送訓練を実施します

関東地方整備局港湾空港部では、大規模地震や豪雨による洪水・土砂災害等により陸路が寸断された場合の海上からの支援を想定し、波崎漁港で関東地方整備局と神栖市、茨城県による緊急支援物資輸送訓練を実施します。

○訓練概要

訓練名：関東地方整備局の船舶による緊急支援物資輸送訓練

訓練場所：波崎漁港（〒314-0407 茨城県神栖市波崎新港9624付近）

日程：令和7年10月9日（木）11:30～12:00

予備日：令和7年10月16日（木）11:30～12:00

訓練内容：沿海域航行訓練（鹿島港～波崎漁港）、接岸訓練

緊急支援物資輸送訓練、給水訓練

関東地方整備局の船舶を波崎漁港の－5.0m岸壁に接岸し、緊急支援物資の受け渡し等の訓練を行います。

訓練参加者：神栖市長 石田 進

（神栖市副市長 石川 祐治（予備日における代理参加））

茨城県

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所長 黒瀬 康夫

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ
茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話：045-211-7427 mail：info-i83ab@mlit.go.jp

課長 佐々木（ささき）（内線：5719）

課長補佐 江口（えぐち）（内線：5739）

○取材を希望する場合は、10月7日（火）13時までに別紙の事前登録書をご提出ください。

○荒天により中止の可能性があります。

予備日での開催となった場合および中止の場合は、訓練日前日の17時までに事前登録者に連絡します。

○関東地方整備局の船舶の行程

09:30 鹿島港 発

11:30 波崎漁港 着

11:30～12:00 接岸訓練、緊急支援物資輸送訓練、給水訓練

12:30 波崎漁港 発

14:30 鹿島港 着

○「命のみなとネットワーク」の取り組みについて

近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生しています。陸路が寸断して孤立した被災地において、海上輸送を活用した緊急物資や生活物資、救援部隊や被災者の輸送等の事例も増えつつあります。国土交通省港湾局では、こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した、災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、このネットワークの形成に向けた取組を各地域で進めています。災害時に速やかに対応できるように、国土交通省各地方整備局と関係市町村等が合同で、物資又は人員輸送に係る訓練を行っています。

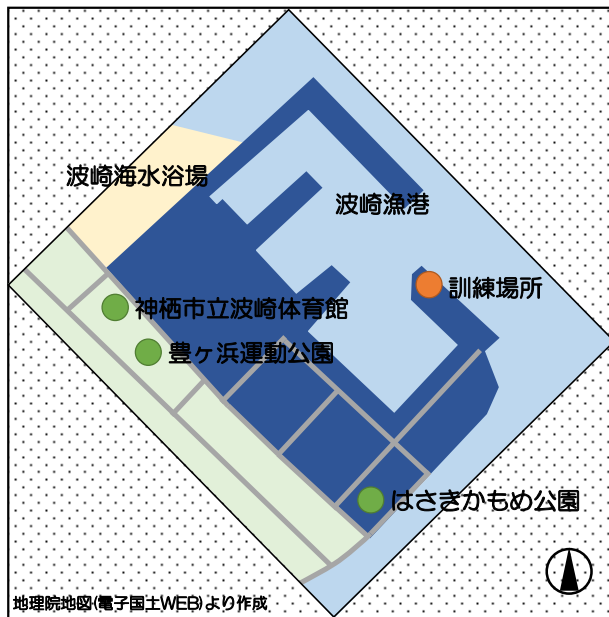
○関東地方整備局港湾空港部の訓練実績



○訓練場所

波崎漁港 - 5.0m 岸壁

〒314-0407 茨城県神栖市波崎新港9624 付近



○訓練使用船舶

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所 港湾業務艇「かしまⅡ」

長さ約17m 幅約5m 総トン数約29t



(別紙)

【事前登録〆切：令和7年10月7日（火）13時】

事前登録書

令和7年10月9日（木）に開催される訓練の取材の事前登録を行います。

1. 報道機関名

2. 氏名等

氏名	連絡先	メールアドレス

3. 送付先 以下の電子 Mail あて

Mail : info-i83ab@mlit.go.jp

4. 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

電話：045-211-7427

課長 佐々木

課長補佐 江口